

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 西松庵

作成日 平成 24 年 9 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	個々の職員の身体拘束に対する理解が統一されていない。又は不完全。	身体拘束に対する理解を深め、全職員の意志統一を図り、入居者様の快適な生活を援助する。	施設内・外研修の実施による身体拘束への理解を図る。また日々の業務の中で職員が互いのケアについて話し合う機会（会議等）を常時設ける。	1 年
2	43・44	排便管理の徹底。気持ちよい排泄の支援。	各入居者様の排泄、排便状況を把握し、快適な排泄を促せるように援助する。	トイレ誘導の仕方や見守りの工夫にて、排泄、排便状況をしっかり把握し気持ちよく生活してもらえるように配慮をする。	1 年
3	13	新人・現任研修が不十分。	研修実施参加により介護職員としての知識を深めていく。	新人・現任研修共に、具体的なプログラムの作成及び同時に指導者の育成も図る。	1 年
4	20	入居に際して馴染みの家具等の持ち込みはあるが、以前の対人関係の継続がほとんど見られない。	本人・家人様の了解の上で以前の対人関係の継続を職員が積極的に援助する。	入居者様の以前の対人関係の情報収集に努め、所内での行事等へ招待する形式で、対人関係の継続を援助する。	1 年
5					

注 1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注 2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。